

# 目次

- 1 はじめのうた
- 2 季節のカード (味覚編)
- 3 あそびうた さいごが「ん」
- 4 今月の詩 証城寺の狸囃子 野口雨情
- 5 たし算 6の段
- 6 ことわざ 泣き面に蜂 楽あれば苦あり  
嘘から出たまこと いずれ菖蒲か杜若
- 7 かけ算 7の段
- 8 俳句 与謝蕪村 小林一茶 加賀千代女
- 9 かぞえうた 1個 1張 1杯 (りんご、すだれ、たこ)
- 10 なぞなぞ
- 11 手あそびうた ゆらゆらタンタン
- 12 音の絵本 スズムシ クツワムシ エンマコオロギ  
ウマオイ カネタタキ
- 13 イメージストーリー リード君 (第6話 お月さま)  
(イメージしてみましよう)
- 14 今月のうた 手渡し
- 15 おはなし かちかち山
- 16 童謡 証城寺の狸囃子
- 17 漢詩 竹里館
- 18 百人一首 後鳥羽院 法性寺入道前関白太政大臣  
左京大夫顕輔 阿部仲麻呂
- 19 復習コーナー
- 20 暗示 (静かなところで目を閉じて聞きましょう)

《さいごが「ん」》

しりとりあそびを しってるかい

さいごに「ん」がいたら それでまけ

「ん」がいたら いけないよ

それじゃ さいごに「ん」のつくことばを いってみよう

みかん うどん やかん きりん

めろん ぷりん ふとん らいおん



しょうじょうじ たぬきばやし  
証城寺の狸囃子

のぐちうじょう  
野口雨情

しょうしょう しょうじょう寺  
しょうじょう寺の庭は  
つ つ 月夜だ  
みんな出て こいこいこい  
おいらの友だちや  
ぽんぽこぽんの ぽん

負けるな 負けるな  
おしょうさんに 負けるな  
こいこいこい こいこいこい  
みんな出てこいこいこい

しょうしょう しょうじょう寺  
しょうじょう寺の萩は  
つ つ 月夜に  
花ざかり  
おいらはうかれて  
ぽんぽこぽんの ぽん

負けるな 負けるな  
おしょうさんに 負けるな  
こいこいこい こいこいこい  
みんな出てこいこいこい



# ことわざ

## 泣き面に蜂

泣いてむくんでいる顔を蜂が刺すことから、不運なことの上にさらに不幸なことが重なって起こること。



## 楽あれば苦あり

世の中は楽しいことがあれば苦しいこともある。



## 嘘から出たまこと

嘘のつもりで言ったことが、偶然事実になってしまうこと。



## いづれ菖蒲か杜若

菖蒲と杜若はよく似ていて美しい。どちらもすぐれていて選ぶのに迷うこと。



俳句

ゆ 温泉の底に わがあしみ け さ あき 今朝の秋

よ さ ぶ せん 与謝蕪村



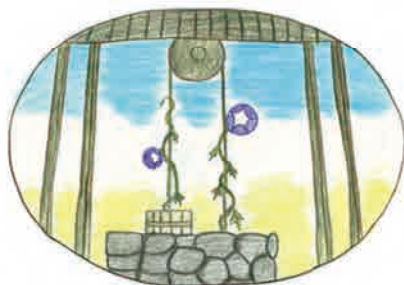
あお 仰のけに お落ちて なあき せみ 秋の蝉

こばやし いっ さ 小林一茶



あさがお 朝顔に つるべとられて もらみず 貰い水

か が の ち よ じょ 加賀千代女



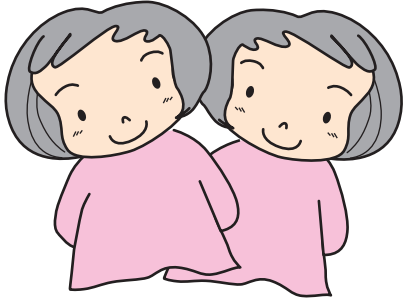
# なぜなぜ

- 1 なんでもひとまね。でも、あべこべになっているものなあに？
- 2 あわをだすたび、<sup>ちい</sup>小さくなっていくものはなあに？
- 3 <sup>やま</sup>山の中<sup>なか</sup>で、<sup>でんしゃ</sup>電車が<sup>き</sup>消えたりで<sup>きて</sup>きたりするあなはなあに？
- 4 あたまに<sup>ひ</sup>火をつけると、<sup>なみだ</sup>涙をながしながら<sup>ちい</sup>小さくなっていくものはなあに？



《ゆらゆらタンタン》

① ゆらゆら



からだをゆらす

② タンタン



て  
手をたたく

③ おめめ



④ ゆらゆら  
タンタン

①②くりかえす

⑤ おはな



⑥ ゆらゆら  
タンタン

①②くりかえす

⑦ おくち



⑧ プーッと



ほおをふくらます

⑨ ほっぺに



⑩ おみみ



# 音の絵本

今月は、いろいろな虫たちです。

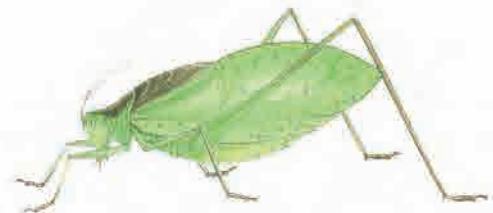
- 1) スズムシ
- 2) クツワムシ
- 3) エンマコオロギ
- 4) ウマオイ
- 5) カネタタキ



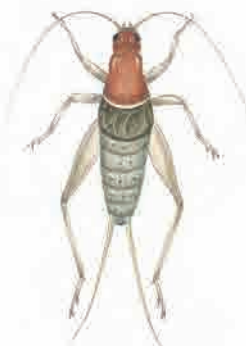
スズムシ



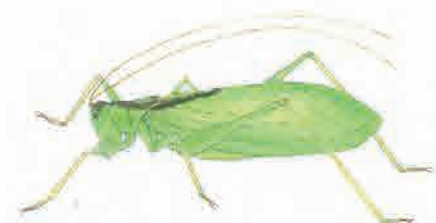
エンマコオロギ



クツワムシ



カネタタキ



ウマオイ



《<sup>て わた</sup>手渡し》

プリント えんぴつ おもちゃ ハサミ

<sup>りょうて</sup>両手で<sup>て わた</sup>手渡し <sup>りょうて</sup>両手で<sup>う と</sup>受け取る

<sup>せんせい</sup>先生から プリント もらうとき

<sup>らんぼう</sup>乱暴にとっては ダメダメ

<sup>とも</sup>友だちに おもちゃを わたすとき

おもちゃをなげては ダメダメ

みんなは かなしくなるね

<sup>りょうて</sup>両手で <sup>て わた</sup>手渡し はいどうぞ

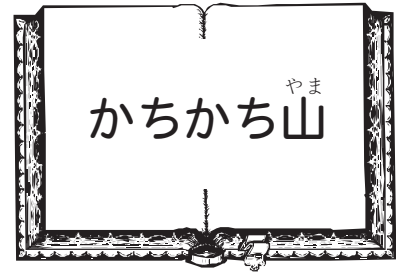
<sup>りょうて</sup>両手で <sup>う と</sup>受け取り ありがとう

みんなはできる やってみよう

<sup>りょうて</sup>両手で <sup>て わた</sup>手渡し <sup>りょうて</sup>両手で <sup>う と</sup>受け取る

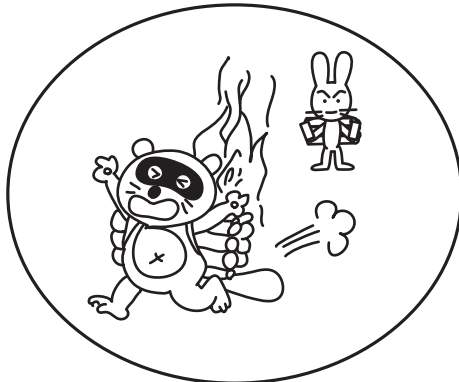
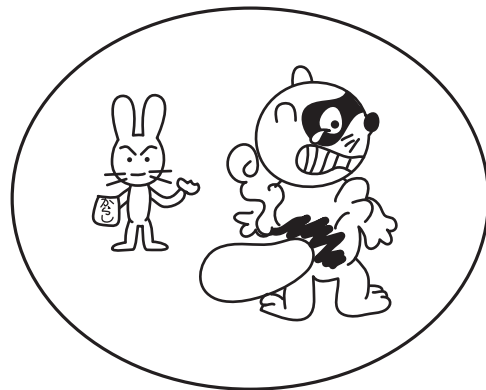
みんなは たのしくなるね





「かちかち山<sup>やま</sup>」は、いたずらのひどいタヌキを、ウサギがこらしめるお話し<sup>はなし</sup>です。  
お話し<sup>はなし</sup>を聞いた後<sup>あと</sup>で、質問<sup>しつもん</sup>にこたえてみましょう。

- 1 おじいさんは、いたずらのひどいタヌキをどうしましたか。
- 2 ウサギは、おじいさんに何<sup>なん</sup>といいましたか。
- 3 ウサギは、薪<sup>たきぎ</sup>を背負<sup>せお</sup>ったタヌキに何<sup>なに</sup>をしましたか。
- 4 ウサギは、やけどをしたタヌキに何<sup>なに</sup>をぬりましたか。
- 5 ウサギはどんな船<sup>ふね</sup>、タヌキはどんな船<sup>ふね</sup>を作<sup>つく</sup>りましたか。



竹里館  
ちくりかん

独り坐す  
 ひとざす  
 幽篁の裏  
 ゆうこううち  
 琴を弾じ  
 ことをだんじ  
 復た長嘯す  
 ままたちようししやうす  
 深林  
 しんりん  
 知らず  
 明  
 めい  
 月  
 げつ  
 来たりて相照らす  
 きたりてあいてらす  
 人  
 ひと

王  
おう

維  
い



人もをし  
人も恨めし  
世を思ふゆゑに  
あぢきなく  
物思ふ身は

(後鳥羽院)

わたの原  
漕ぎ出でて見れば  
雲居にまがふ  
久方の  
沖つ白波

(法性寺入道前関白太政大臣)

秋風に  
たなびく雲の  
もれ出づる月の  
絶え間より  
影のさやけさ

(左京大夫顕輔)

天の原  
ふりさけ見れば  
三笠の山に  
春日なる  
出でし月かも

(阿部仲麻呂)



後鳥羽院